

なるほど!! ザ・ビーク



どつく お
アカヤーマーという道具をつかってムシロを織っているところです。

ようこそ ビーグの里

勝連南風原

照間へ!!

与那城西原

与那城

与那城照間

具志川



リンちゃん

こんにちは、^{てるや}照屋さん。
今日はビーグについて調べ
^{きょう}今日に^{しら}来たのですがビーグって
^き何の^{なん}ことですか？



^{おきなわけん}沖縄県^{てるま}うるま市照間ではいぐさのことをビーグとよんでい
ます。うるま市照間は与那城・勝連・具志川にまたがった
^{てるま}与那城^{よなしる}勝連^{かつれん}具志川^{ぐしかわ}にまたがった
^{しゅうらく}集落で、いぐさの生産地として有名な地域です。

これから、リンちゃんと^{てるや}照屋さんと一緒に^{いっしょ}照間の^{てるま}ビーグに
ついてみていきましょう。

こんにちは、リンちゃん。
^{てるま}照間ではいぐさのことを
ビーグとよんでいるんだ。
いぐさは^{たため}畳の^{ざいりょう}材料として使
^{つか}われているんだよ。



照屋さん



てるま おきなわ いちばん
照間のビークは沖縄で一番なんだ。

おきなわけん しゅうかく めんせき
なんと、沖縄県におけるビークの収穫の面積
せいさんりょう てるま やく ばせんと
と生産量は、照間が約90%をしめているよ。



90% !?

おきなわ てるま
沖縄のいぐさのほとんどは照間でつくら
れているんですね。

めいじじだい たかみね まぎり かなぐすくまぎり げん
明治時代のころは、高嶺間切・兼城間切（現
ざい いとまんし く めじま さい
在の糸満市）や久米島などでもビークの栽
ばい さか げんざい
培が盛んだったんだけど、現在ではうるま
し てるま くにかみそん おくま ちいき
市の照間と国頭村の奥間という地域でしか

つくられていないんだ。

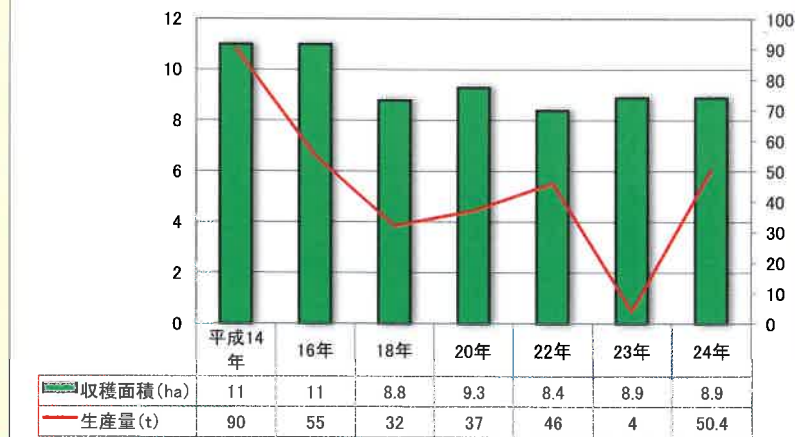
てるま ねん れきし
照間のビークには150～200年の歴史があ
い
ると言われているよ。

(参考資料：福地暁昭『沖縄のい草』青い海出版社、1978年)



沖縄で一番の照間!!

沖縄県いぐさ生産量の推移



(沖縄県 糖業農産課 市町村報告より)

うえ おきなわけん しゅうかく めん
上のグラフは、沖縄県のいぐさの収穫の面
せき せいさんりょう
積といぐさの生産量をあらわしているよ。



へいせい ねんど せいさんりょう すく
平成23年度は生産量が少ないんですね。



へいせい ねんど たいふう えいきょう しゅうかく すく
平成23年度は台風の影響で収穫が少な
かったんだ。



照間ビーグのとくちょう



てるま にほん いち
照間のビーグは日本一でもあるんだ。
ほか ちいき む のうやく さいばい
他の地域とちがって、無農薬で栽培して
けんがい ちゅうもん
いるから県外からも注文があるんだよ。

ぜんこく たか ひょうか
全国からも高く評価されているんですね。



どうぐ つか
さらに、アカヤーマーという道具を使って
お ぜんこく めずら か ち
織ったムシロは全国でも珍しくて価値があ
るんだ。

ひと て お ぎじゅつ のこ
人の手で織る技術が残っているんですね。



せかい いち てるま
そして世界一のものも照間にはあるんだ。
いぐさは「藺 (い)」といって世界で一番
せかい いちばん
みじか しょくぶつ なまえ
短い植物の名前なんだよ。

てるま いちばん
すごい!! 照間には1番がいっぱいなんですネ!



ほんど くら
本土のいぐさと比べて、
ふと
●太くてじょうぶ。
むのうやく そだ
●無農薬で育てています。
●どろぞめをしていません。



てるま つく おも
照間で作られている主
なビーグは「フクオ
カー」という種類がつ
しゆるい
かわれています。
※フクオカーの正式名は
せいしきめい
ふくおかざいらい
福岡在来といひます。

ほんど
本土では「どろぞめ」といっ
たみ だ
て、畳のにおいを出したり、
だ いろ
つやを出したり色のムラを
なくすために土を使ってい
つち つか
ぐさを染めています。

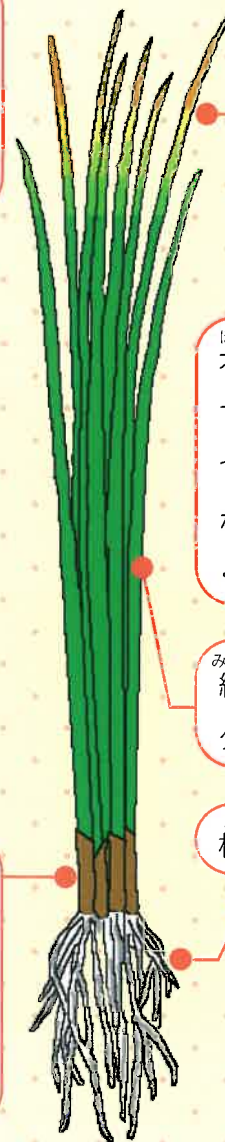
みどり ぶぶん おお い
緑の部分が多いと良いビー
グといわれています。

ね
根っこ。

くすり
ぜんそくの薬としても
つかわれていました。

はかま

てるま ほうげん
照間の方言では「シビ」
とよばれています。
まえ
おる前に、はかまをと
ります。



たたみ ビークはどうやって置になるの？

(1) 田んぼの土をつくる！ (8月～10月ごろ)

良いビークを作るためには田んぼの土づくりからはじめます。

ビークの田んぼは決められた土づくりの仕方はありません。

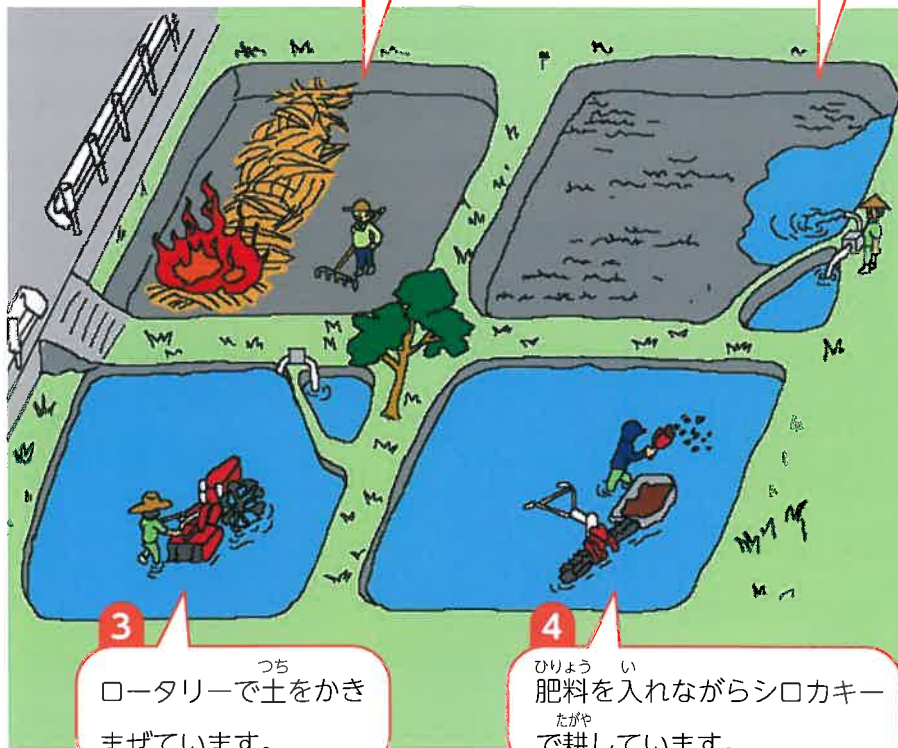
それぞれの農家の知恵と経験をつかって工夫して行われています。

1

あまったビークを燃やして
肥料にしています。

2

ざっそうをか ちや
雑草を刈って、土を耕して、
みず い
水を入れています。



3

ロータリーで土をかき
まぜています。

4

肥料を入れながらシロカキ
で耕しています。

(2) ビークを植える (10月～11月ごろ)

土づくりがおわるとビークを植えます。

そこにもビーク農家ではそれぞれの工夫があります。

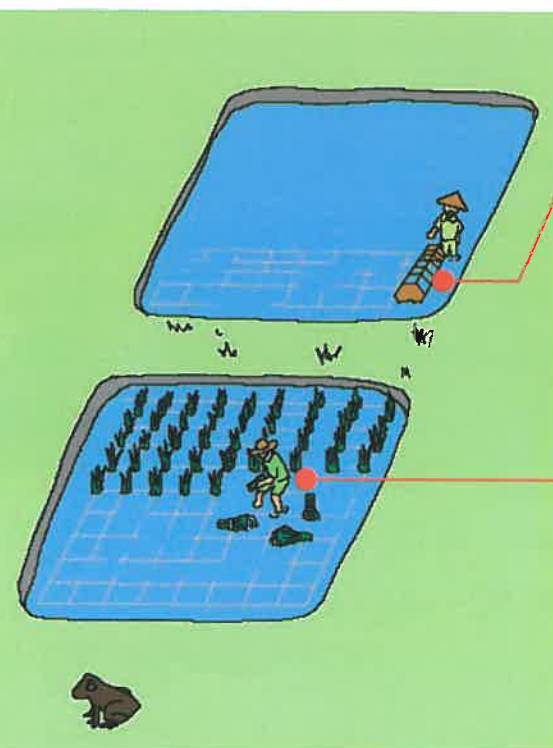
5

ゴールマー

「転がるもの、回るもの」という意味があります。

※ゴールマーとはビークの植え付けに使う道具

です。それは、転がして田んぼに跡をつけま
す。その跡にビークを植えていきます。



6

今でも人の手で植えて
います。



う つ あと しゅうかくまえ がつ がつ
 (3) 植え付け後から収穫前 (12月～5月ごろ)

1

ひりょう い
 肥料を入りたいからカマをつかってうき草を
 と 取ります。5月ごろになると、うき草はかれ
 てなくなります。



アカウキクサ



2

じょそうざい
 除草剤をつかわずにできる
 だけ人の手で雑草をとりの
 ぞいでいます。

3

ねん かい ひりょう い
 年に3～4回ほど肥料を入れる
 た 田んぼもあります。

しゅうかく がつ がつ
 (4) ビーグの収穫 (5月～7月ごろ)

4

きかい
 ハーベスターという機械でい
 ぐさを刈り取ります。刈り取
 る前に田んぼの水をぬぎます。

5

みず た
 水をぬくことができない田
 ぼは、カマをつかって人の手
 でかりとります。



6



ね さき
 根っこをそろえて先っぽをもち、
 ちから
 力よくふることで、みじかいビー
 グがとんでいきます。
 こうして長いビーグだけを商品に
 します。

(5) ビーグをかんそうさせます

かりとったビーグは、かんそうきをつかってかんそうさせます。



かんそうきでビーグをかんそうさせるのに、だいたい12時間くらいかかるよ。

かんそうきがつかわれる前は、^{まへ}照間の浜に^{てるま}ビーグを^{はま}広げて^{ひろ}天日干しして^{てんぴ ぼ}いました。



1970年代ごろの照間浜（撮影：西平正幸）

^{てんぴ ぼ}天日干しだと、ビーグをかんそうさせるのに5〜7日^{にち}かかったよ。



1970年代ごろの照間浜（撮影：西平正幸）

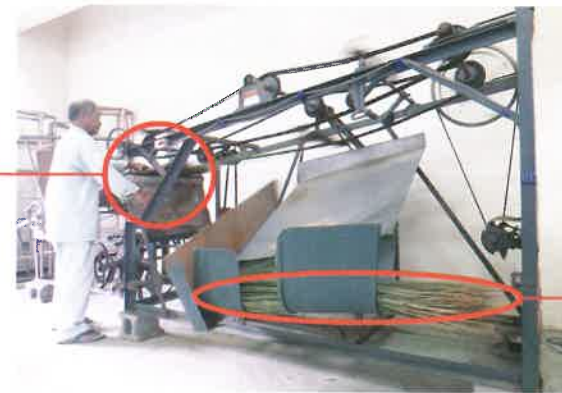
^{てんぴ ぼ}天日干し

^{よる}夜はハマヤーとよばれる^{こや}小屋にビーグをほかんしていたよ。



(6) ビーグのせんべつ

^{みじか}短いビーグは^{のこ}ここに^{のこ}残ります



^{なが}長いビーグは、^よここに^わ選り分けられます

(7) ビーグをおる

かんそうさせ、せんべつきでより分けられた長いビーグは、せんようの道具でおられ、ムシロ（たたみ表）になります。



じどう
自動おりき

ビーグが切れたりほつれたりすることもあるので、そのときは手作業で切れたりほつれたりしたビーグだけをおりきからぬぎとるよ。



でてくる長いムシロを切り分けてムシロのかんせい!!

おりきのれきし



むかし昔つかわれていたおりきをしようかいですよ。いまのように電気ではなく、昔は人の力でおっていたんだ。

ジーバタ

もっとも古いおりきで、木でできています。2人がかりでおっていました。りょうはしから手作業でビーグを一本ずつさしこんでおっています。



キーヤーマー

あしづみ式のおりきで、木でできているのでキーヤーマーと呼ばれています。1人でもムシロをおることができます。タカヤーマーともいいます。



アカヤーマー

キーヤーマーをかいりょうしたあしづみ式のおりきです。あかい色をしているので、アカヤーマーと呼ばれています。現役では2名の織り手がいます。



新



(8) たたみのかんせい!!

てるま つく おもて や しょくにん
照間で作られたムシロ (たたみ表) は、たたみ屋さんで職人の
て 手によってたたみになります。



へや おお
たたみをしく部屋の大きさを
はか 測ります。
へや おお あ
部屋の大きさに合うようにた
き だみどこを切ります。



たたみどこにムシロ (たたみ
おもて 表) をのせます。ゆがみがない
しょくにん
ように職人さんがそろえます。



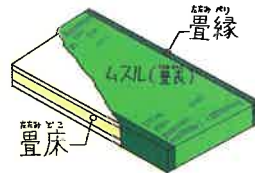
おもて
ムシロ (たたみ表) のあまっ
たはしっこを切りそろえます。
き
それから、たたみ表をたたみ
おもて
どこにぬいつけます。



さいご かんせい
最後にへりをぬいつけて完成
します。

ざいりよう たたみの材料

- ざいりよう おも
たたみの材料は主に3つあります。
- 1 ビーグをおって作ったムシロ (たたみ表)。
 - 2 たたみのしんになるたたみどこ。
 - 3 たたみのへりにつけるたたみべり。



て 手ぬいでたたみをつくると、1日
にち
2~3まいしかつけれないけど、
きかい 機械をつかうと1日へいきんして
にち
30まいのたたみをつくることが
できるよ。



たたみしょくにん かねしろ
畳職人の兼城さん

てるま しぜん かんきょう
照間の自然環境



てるま ちけい ちしつ かんきょう
 照間の地形、地質、環境をみてみよう！

せつかいがん
りゅうきゅう石灰岩

かい
 サンゴや貝がらでできている
 ち
 地そうです。スポンジのよう
 あまみず とお
 に雨水を通します。

がん
でい岩

あまみず とお
 雨水を通さないどろの地そう
 てるま ほうげん
 です。照間の方言で「ジャー
 ガル」といいます。このとく
 ちょうをつかって てるま ひと
 ちをたつて照間の人た
 ちはた 田んぼをつくりビーグを
 そだ
 育てています。

いけ
ため池

た みず い
 田んぼに水を入れたり
 た みず
 ぬいたり田んぼの水の
 りよう
 量をちょうせつします。

そうこ

のうか どうぐ
 ビーグ農家の道具が
 ほかんされています。

ぼうふうりん

つよ うみかぜ
 強い海風をふせぎます。照間ではユ
 ーナ (オオハマボウ) やモクマオウ、
 アダンがつかわれています。

てるまばま
照間浜

むかしはここで、ビーグ
 をかんそうさせるために
 てんぴ ぼ
 天日干ししていました。

た なか ある
 つぎは田んぼの中を歩いてみよう。

はいすいろ

うみ
 海とりくがつながって
 います。カニなどの生
 もの とお みち
 き物の通り道にもなっ
 ています。

た
田んぼ

むのうやく
 ほぼ無農薬。いろいろ
 い もの た
 な生き物が田んぼをり
 よう
 ようして生きています。



た はっけん
田んぼで発見



チュウダイサギ



ヌマガエル



バン



オオヒライソガニ



ヒカリアシナグモ



タイリクショウジョウトンボ



タイワンキンギョ



シナスッポン がいらいしゅ
(外来種)



ウスイロシマゲンゴロウ



いろいろな生き物が田んぼをりようして生きていますね！



ベニトンボ



ハラボソトンボ



ダンダラテントウ



ショウリョウバッタ



マダラバッタ



タテハモドキ



オオウナギ



テンジクカワアナゴ



アカマタ



ビーグの先^{さき}っぽが白^{しろ}くなっていたのを見つ^みけました。どうして先^{さき}っぽが白^{しろ}くなっていたんですか？

白^{しろ}くなっているのは、バッタやイナゴがビーグを食^たべたあとなんだよ。



田んぼのビーグが全部^{ぜんぶ}バッタやイナゴに食^たべられてしまうことはないんですか？

クモなどの生き物^{いもの}ががいちゅうを食^たべてくれるんだ。
むかしからクモの巣^すがはる田んぼ^たは良いビーグができるといわれているよ。



田^たんぼで鳥^{とり}の足^{あし}あとや、ビーグでつくられた鳥^{とり}の巣^すも見つ^みけました。

無^む農^{のう}薬^{やく}でビーグを育^{そだ}てているから、田^たんぼに食^たべらるえさを食べるために鳥^{とり}もやってくるんだね。



てるや 照^{てる}屋^まさん、照^{てる}間^まのビーグのことをいろいろおし^{おし}教えていただきありが^あうございました。



わからないこと^{こと}があったらまたおいで！



うるま市の家々には、まだ畳の部屋が多く残っています。畳は私たちの生活のなかで、とてもなじみのある生活の用具です。

照間集落は畳の原料となるい草の生産が沖縄県内でとても盛んな地域です。しかし、その農家は後継者不足や外国産のい草の影響などで年々厳しい状況となっています。

照間集落以外にも、い草の生産で有名な地域は熊本県、大分県、広島県、岡山県などです。それらの地域と比べると、照間のい草は無農薬で生産し、とても太くて丈夫です。その田んぼは生き物が多様で豊かな自然の景観を保っています。さらに国内の畳屋では琉球表（畳表）として高く評価され、注文が多いわけです。

とくにアカヤーマーで織る畳表（むしろ）は人力のため、普通の畳表よりとても貴重ですが、現在2名の織り手しかいません。全国では自動式織り機を1935（昭和10）年ごろから導入したため、織り手の経験者がいなくなっている状況です。

このパンフレットを通し、照間のビーグの魅力を感じ、地域の特産品の付加価値を知り、学校教育及び生涯学習などへ活用していただければ幸いです。

平成26年度景観調査活用事業

うるま市文化財シリーズ⑥

『なるほど!!ザ・ビーグ』

発行年月日 2015(平成27)年 3月31日

編集 うるま市教育委員会文化課

発行 うるま市教育委員会

〒904-2226

沖縄県うるま市字仲嶺 175 番地

TEL (098)-973-4400

印刷 株式会社尚生堂